

全日ア連総務第 09-019 号  
平成 21 年 4 月 16 日

アーチェリーを愛好するすべての皆様へ  
警察からの嚴重注意

社) 全日本アーチェリー連盟  
専務理事 島田 晴男  
(公印省略)

誠に残念なことです。首都圏某警察署より、「アーチェリーの安全な取り扱いと事故防止の徹底について」という、嚴重注意文書が届きました。

自宅で弓の調整中に誤って矢が飛び出し隣接するマンションの窓ガラスに矢が突き刺さるとい事故でした。どのような状況であったにせよ、外に矢が飛び出さぬよう万全の注意を払うのが常識であり、マナーです。

今回は刑事事件にはなりませんでしたが、アーチェリーを愛好する全ての人が、「他人に迷惑をかけない」という最低限のマナーを守るよう、今一度自戒してください。安易な行為が、重大事故につながります。

危険行為はご自身が注意するだけでなく、他の人の行為も勇気をもって注意してください。

アーチェリー発展のために、是非ともご協力ください。

ホームページに「安全のために」を掲載していますが、新に「事故防止に向けて」も掲載しました。経験者の方ももう一度読み直して安全マナーを実施してください。

## 事故防止に向けて

アーチェリーを楽しく安全にプレーするために絶対に守ってもらいたいマナー

○安全が確保出来る環境以外では、絶対に弓を引かない。

○必ず的に向かって、水平に引き分けて下さい。引き戻す際も、そのまま的に向かって戻して下さい(3線ライン内に向かっての引き戻しは禁止します)。

○矢が的から逸れたら、その原因が分かるまで次の射は止めましょう。また、紛失した矢を確認してから次の射を行なうようにして下さい。

○試合中に弓具故障が発生したら、まず審判員にアピールして下さい。故障した弓具・リリース等は試合中に調整せず、すぐに予備に交換して下さい。

○飲酒は控えてください。(練習、調整中でも誤射の恐れがあります)

○指導者・施設管理者等は、危険な行射、またはその恐れのあるアーチャーには、その場で注意、指導をして下さい。アーチャーは、第三者からの助言に素直に従いましょう。

○安全確保の基本は、自分の体力でコントロールできる強さの弓具を使用することです。  
無理せず、無駄なくアーチェリーを楽しみましょう。

**安全確保はアーチャー全員が守るべき最大のマナー・義務です**